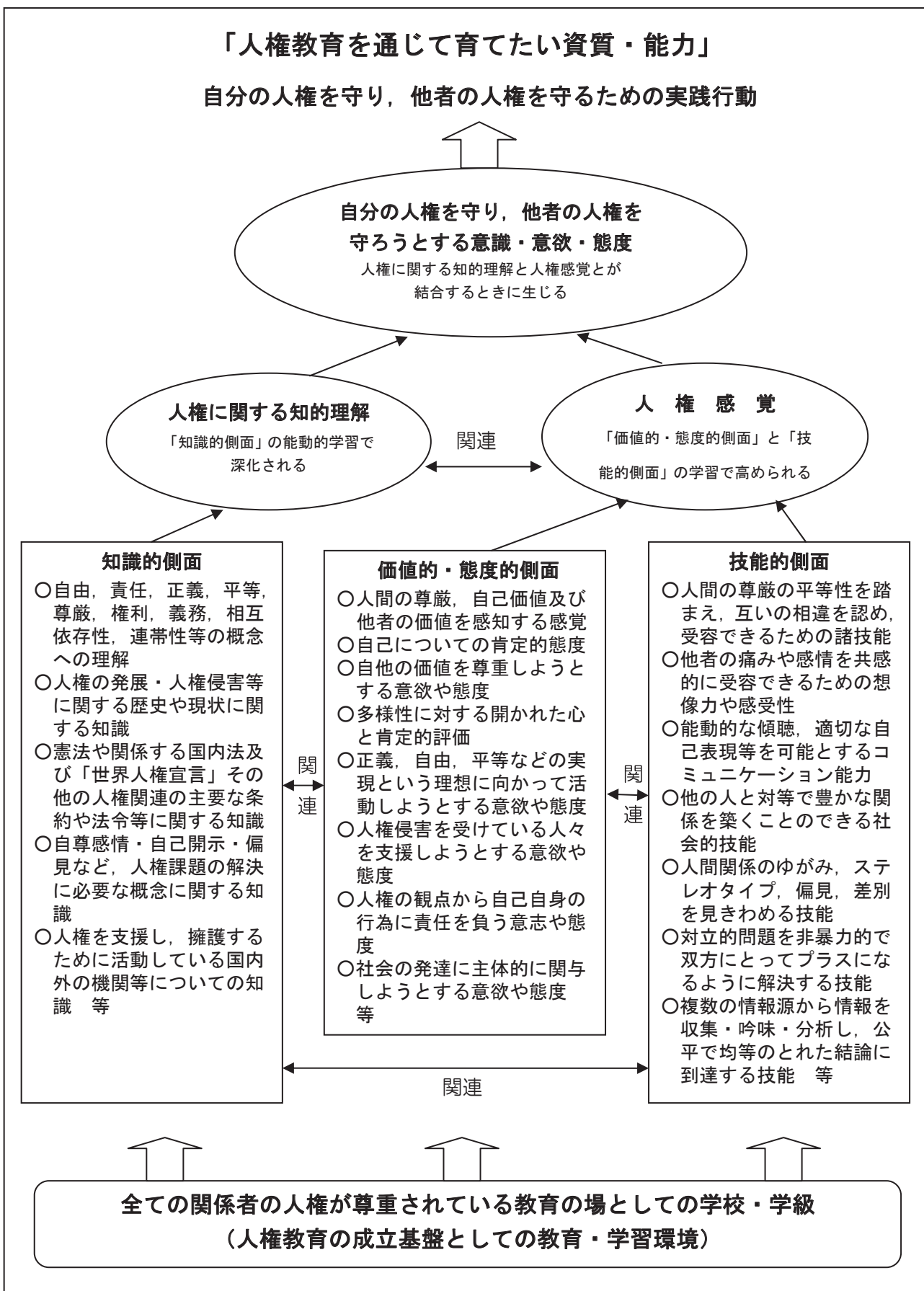


資料3 人権教育を通じて育てたい資質・能力（「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」より） 指導の在り方編 P.7



資料4 人権尊重の精神に立つ学校づくり

① 人権が尊重される授業づくりの視点例

視 点	ねらい	ポイント・留意点
自己存在感を持たせる支援を工夫する。	授業に参加しているという実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や活動に応じた座席の工夫や応答のパターンの工夫を行う。 ・児童生徒の既習事項や生活態度，興味関心等を把握し様々な視点から解決できるように課題設定の工夫を行う。 ・児童生徒の学習意欲や習熟の度合いを把握し，課題（題材）を複数準備したり，ヒントカードを与えたりする。 ・結果にこだわらず，思考過程や学習過程を認める。
	自分が必要とされているという実感を持たせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的な指名等，一人ひとりが活躍する場や課題を工夫する。 ・自由な発想や方法が認められたり，自己選択できる場を工夫したりする。 ・互いの発言を最後まで聴く習慣や誤答を大切にすることを身に付けさせる。 ・協力して活動できる場を工夫し，互いの考え方や方法のよさに気付かせる。
	教師自身が一人ひとりを大切にする姿勢を示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの名前を呼び，目を見て話す。話をよく聴く。 ・発言しない児童生徒に配慮するとともに，適切な支援を行う。 ・承認・賞賛・励ましの言葉をかけ，個に応じた改善課題や改善方法を示す。
共感的人間関係を育成する支援を工夫する。	自分が受け入れられていると実感できる雰囲気をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも失敗はある，誰もがよさや弱さを持っているという認識に立って，互いを尊重しあう人間関係づくりを行う。 ・一人ひとりが自由に発言できる雰囲気づくりを行う。 ・教師の意図と異なる考えを抑圧したり切り捨てたりしない。
	共に学び合う仲間だと実感できる雰囲気をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の発言や作品のよさに気づき，学ぼうとする態度を育てる。 ・自分の考えと異なる意見や感情を拒絶せず，それを理解する技能を育てる。 ・他者の気持ちや立場を考えて自分の言葉を選択・構成する態度を育てる。 ・互いの役割や責任を認め合う態度を育てる。
自己選択決定の場を工夫して設定する。	学習課題や計画を選択する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて，複数の学習課題の中から自分にあった課題を選択する機会を設定する。 ・発達段階に応じて，学習の見通しをもって計画を立てるための支援を行う。
	学習内容，学習教材を選択する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態を踏まえて多様な教材・教具を準備し，選択の幅を与える。 ・自分の習熟の度合いや興味・関心に基づいて，教材・教具を選択できる場を設定する。

自己選択決定の場を工夫して設定する。	学習方法を選択する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態を踏まえて児童生徒の実態や学習内容に応じた学習方法を提示し、選択の幅を与える。 ・課題解決のための情報や資料を準備し、その活用方法について適時助言する。 ・ワークシートやノート整理の方法，学習内容のファイルの仕方を助言する。
	表現方法を選択する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態を踏まえて多様な表現方法を提示し、選択の幅を与える。 ・考えをまとめるための多様な学習ノートを準備する。 ・相手や内容に応じた表現ができるよう，多様な表現スキルを提示する。
	学習形態や場を選択する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や学習内容に応じた学習形態や活動の場を多様に提示し，選択の幅を与える。 ・自分の課題や方法に基づいて活動内容や場所を選択する機会を設定する。
	振り返りの方法を選択し，互いの学びを交流する機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態や学習内容に応じた学習成果のまとめ方を多様に提示し，選択の幅を与える。 ・自他の学習課題や解決方法，学習の仕方やまとめ方等を振り返って交流する時間を設定し，他者の成果に学ぶとともに，今後の学習課題や方法について選択・決定できる場を工夫する。

② 人権尊重の視点に立った校内環境づくりの取組例

取り組み	内 容
人権コーナー等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内や教室に「人権コーナー」等を設置し，児童生徒や来訪者がいじめや差別のない人権が尊重される学校・学級づくりの必要性について考えることができるようにする。 ・児童生徒の作品を展示する場合は，作品に教員や友達の評語を付れたり，本人のコメントを付れたりするなどして肯定的なセルフイメージの高揚や，児童生徒間の相互理解の促進を図る。
人権啓発作文・標語・ポスター作成・掲示	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間に合わせ，人権啓発に関する作文，標語，ポスターづくり等を行うとともに，作品を校内に掲示し，人権尊重の雰囲気の醸成を促進する。
人権集会・人権学習発表会等の開催，学習成果の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会や学年集会等で児童生徒が他学年・学級の児童生徒や保護者，地域の人々に学習活動の成果を発表する機会を設ける。また，学校だより，学級通信，PTA新聞等を通じて，人権学習の成果を校内外に発信する。

人権教育の指導方法の在り方について[第三次とりまとめ]～実践編～（PP. 3～5）より

資料 5

平成24年度 学校人権教育の推進に関する実態調査の結果について（概要）

調査概要

目的：学校人権教育の推進に資するため、各学校における人権教育の取組状況を把握する。
 対象：公立小・中学校、市立高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校

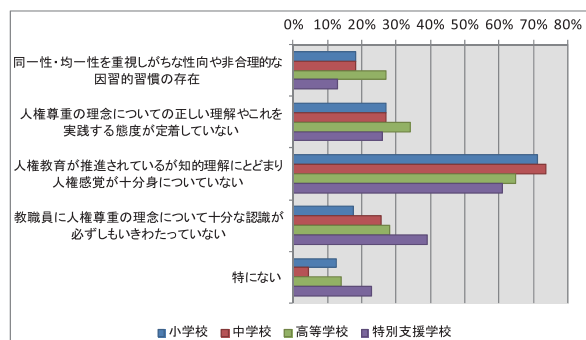
調査結果総論

学校における人権教育の取組については、概ね定着が図られていると言えるが、人権教育の全体計画や年間指導計画が未策定、人権教育に関する職員研修が未実施の学校も一部に見られる。校内の推進体制の整備や、指導資料の活用、保護者への啓発等の取組状況についても、地域や校種による差が見られる。

調査結果各論

①様々な人権問題が生じる背景や学校人権教育の問題点

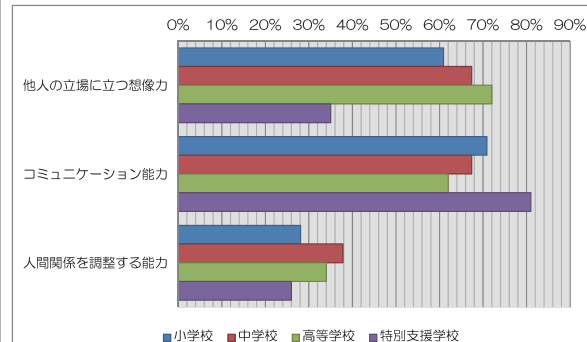
【現状】学校教育活動の中で感じる問題点



【提言】知識の側面、価値的・態度的側面、技能的側面それぞれに同様な重みを置いて、バランスが取れた指導をお願いしたい。

②「人権尊重の理念」を実践に生かすために必要な能力

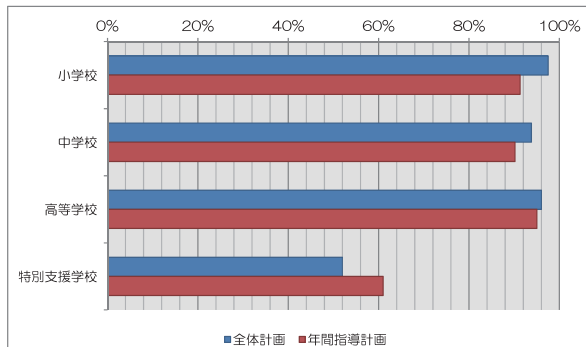
【現状】学校教育活動で特に重点的に育成を図っている能力



【提言】協力的な学習、参加的な学習、体験的な学習など、児童生徒が主体的、実践的に取り組める指導方法を工夫していただきたい。

③学校人権教育の推進体制

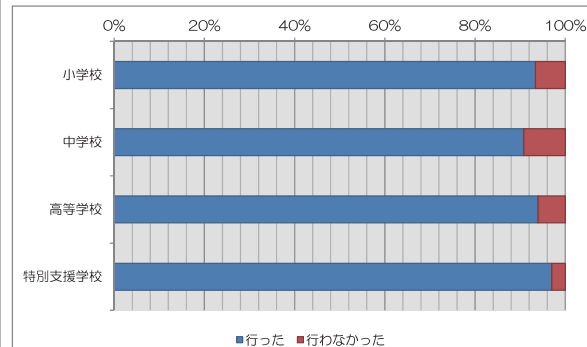
【現状】学校人権教育の全体計画、年間指導計画の策定状況



【提言】学校人権教育推進のための組織を校務分掌に位置付けるとともに、全体計画や年間指導計画を策定し、組織的に取り組んでいただきたい。

④人権課題に関する教職員研修

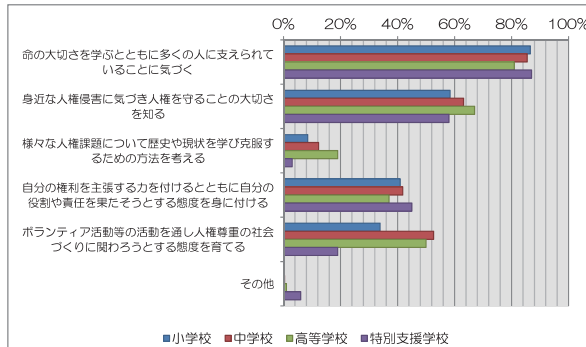
【現状】人権課題に関する教職員研修の実施状況



【提言】特定職業従事者として人権意識を高めるために、人権課題に関する教職員研修を年1回以上は必ず実施していただきたい。

⑤学校人権教育推進の課題

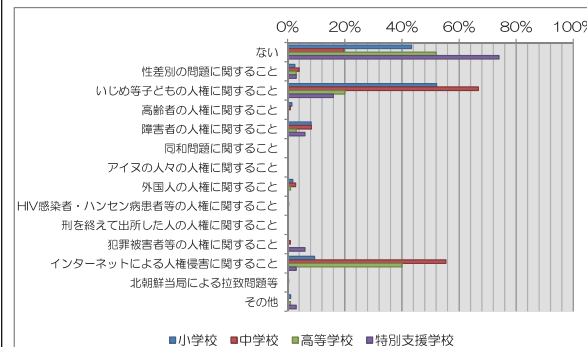
【現状】児童生徒への人権教育の充実



【提言】児童生徒の実態を適切に把握し、次年度に重点的に取り組むべき課題を明確にして、年間指導計画の見直しを図っていただきたい。

⑥学校人権教育推進の課題

【現状】児童生徒の言動等学校で発生している人権問題の状況



【提言】インターネットによる人権侵害など、児童生徒を取り巻く社会の変化に伴う新たな人権問題にも、適切に対応していただきたい。